



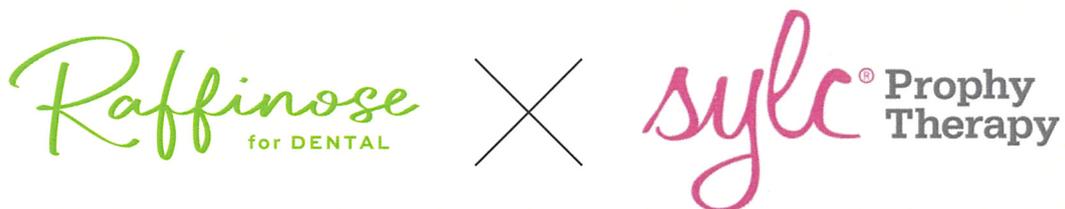
有機 + 無機ハイブリッド
機能付歯面清掃材

BIPアブレーションパウダー

シルクコート / ポリッシング



ラフィノース + シルク 配合比率別 2タイプ



オリゴ糖(ラフィノース)と生体活性ガラス(シルク)のダブルアクション効果

Raffinose
for DENTAL

ラフィノースは3種類のオリゴ糖で、特徴は疎水性、pH5-7、平均径30-50 μ mの粒子です。物理的強度は圧縮強度1.8MPa、剪断強度0.3MPa、曲げ強度0.9MPaで粒子が柔軟であることが証明されており、コンポジットレジンやガラスイオノマーセメント及び補綴物への歯面研磨によるダメージを最小限にします。ラフィノースは、ラメラ液晶構造を有することも特徴の一つです。ラメラ液晶構造は、層状に積み重なった双親媒性分子(親水性と疎水性の両方の部分を持つ分子)からなる液晶相の一種です。この構造は、親水性層と疎水性層が交互に並んだ層状構造を持ち、外部刺激に対する抵抗力が高く、柔軟な膜を形成しやすく、さまざまな形状に適應し、分子の透過性が高く、物質の輸送が容易であるため、軟組織にラメラ液晶構造の形成を促進することで軟組織をバリア機能化します。

sylic[®] Propthy
Therapy

シルクは歯科専用につくられた生体活性ガラスで、リン酸カルシウムガラスとして知られている特殊なガラスの一種です。生体活性ガラスには骨組織との親和性があり、生体活性ガラスが骨と結合することで、骨の再生や修復プロセスが促進されることが期待されています。特徴は親水性で、pH9~11、平均径30-50 μ mの高密度な粒子で、歯のエナメル質に接触すると粉碎され、とても細かい粒子となって、歯面の汚れを除去します。このガラスには、カルシウムとリン酸塩が含まれ、カルシウム、リン、ナトリウム、及びケイ素などのイオンを放出し、生体活性ガラスはイオン放出後に即時分解されます。生体活性ガラスは、歯面清掃の際に粗造な歯面やエナメル小柱鞘に吸着することで、外部からの光が歯面に当たる際にガラスの中で乱反射が起き、歯が白く見える現象が起こることも報告されています。



歯面清掃3ヶ月後

明度の向上 / 色相の変化 / 再着色の減少



自社重炭酸ナトリウムを使用



BIPアブレーションパウダーを使用

※大洗中島歯科医院からの提供写真



未処置



自社重炭酸ナトリウムを使用



BIPアブレーションパウダーを使用

(パウダー再結晶化による配管への影響)

ここ数年、パウダートリートメントの需要が多くなったことにより、使用後のパウダー粒子の再結晶化の問題が表面化しています。通常、糖は結晶成長も早く、再結晶化しやすいのが特徴ですが、ラフィノースは結晶化を妨げる性質があることが知られており、バキュームや配管内への固着を防ぎます。

<歯科用研磨材> BIPアブレーションパウダー シルクコート 一般医療機器 届出番号 B1X10338250002 内容量 120g
<歯科用研磨材> BIPアブレーションパウダー ポリッシング 一般医療機器 届出番号 B1X10338250001 内容量 120g